

番号	3-1-3	表題	下水道管きよ内に発生する侵入石の実態調査と効率的な維持管理について	
内容	<p>東京 23 区の荒川以東に位置する東部 3 区の下水道管きよにおいて発生し、管きよの閉塞を引き起こす恐れのある侵入石について、発生箇所に対する傾向を把握するとともに、成長した侵入石に対して短時間での除去を可能とするために、活用可能な既存機器を比較することで、効率的な維持管理方法について検討した。</p> <p>東部 3 区の過去 3 年分の管路内調査工、清掃工報告書の施工写真による目視判定にて侵入石発生箇所及び発生しやすい管種を分析した。発生箇所については取付管支管口が発生件数全体の 78%、本管ジョイント部が同 15%であった。また、管種については鉄筋コンクリート管が、発生件数割合が高いこと、支管部や本管ジョイント部からの地下水浸入が多く見られることから、侵入石が付着しやすい管種であると判断された。</p> <p>侵入石除去が可能な既存技術を調査したところ、本管についてはチェーン回転ノズル清掃による方法、取付管については穿孔ロボット清掃による方法が、比較的操作が容易であることから、効率的な除去が可能で維持管理のコスト縮減を進めることができるものと考えられる。</p>			
キーワード	侵入石 つまり 除去			
処理区名	中川、小菅、葛西処理区	位置区分	ます取付管、管きよ	
職種区分	土木	施策区分	維持管理向上	
状態区分	維持管理	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和 2 年度	全体期間	—	
担当部署	東京都下水道サービス管路部管路第三課			
発表履歴	局内	—		
	局外	第 58 回下水道研究発表会（令和 3 年 8 月 18 日）		
調査方法	委託調査			
関連情報	—			